

⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

【飼い主相談】

犬猫等を飼育する前や飼育した後のしつけ・飼育等に関する飼い主等の各種相談に応じることにより、飼い主のライフスタイルに合った動物との生活の提案や、飼育継続が困難な状況等の相談への早期介入を行い、動物の終生飼養の支援や福祉部署との連携等による問題解消を図る。

ひとりひとりの市民の課題に寄り添い、ひとつひとつの「市民の幸せ」を実現することで、「ずっと一緒に幸せに暮らせるあたたかな神戸市」を実現する。

◎飼い方相談・犬猫のしつけ相談 相談料：無料

犬のしつけや問題行動の解消に関する専門家が、電話や来所による面接により相談を受け付けアドバイスを行う。愛玩動物飼養管理士である専任職員が対応する。

相談内容により、市による対応が必要であると判断された事案について、市に対し情報提供を行う。

●電話、メールによる相談

開所時間内は随時対応した。犬猫等の健康に関する相談については、毎月第一水曜日の獣医師による健康相談（電話）を案内。しつけや問題行動の解消に関する相談については、毎月第一金曜日の獣医師による問題行動相談（電話）や、来所による相談についても案内。

また、飼育継続困難となった等の引き取り希望の相談については、神戸市の指示により生活衛生ダイヤルを案内している。

●来所による相談（事前予約制）

愛玩動物飼養管理士である専任職員だけでなく、相談内容により訓練士、インストラクター等の有資格者が相談者に助言・指導を行う体制を整えた。本橋孝志訓練士に依頼し、相談日時は月に2回×3組/1回、1組45分とし、事前予約制でマンツーマンで対応した。

また、令和3年度に実施した「パピー教室」が好評であったことから、令和4年度は、来所による相談の枠の中で「パピーのお困りごと相談会」を実施した。



市民相談室にて詳しく聞き取りを行った後、必要に応じて屋外での指導・助言等を行う。一頭一頭に合わせたきめ細かい対応を行っている。

⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

電話による健康相談・問題行動相談の対応について

相談電話専用ダイヤルにて市民からの相談を無料で受け付けた。健康相談、問題行動相談共に、神戸市の事業として公益社団法人神戸市獣医師会所属の獣医師が市民相談室にて電話による相談に対応した。令和4年度からは水曜日の健康相談が第一水曜日のみとなっている。

相談専用ダイヤル：078-747-3063（直通）

◎健康相談：毎月第一水曜日 13:00～16:00

◎問題行動相談：毎月第一金曜日 13:00～16:00

当法人職員は、当番の獣医師に相談ファイル一式の受け渡し、獣医師が離席中の電話対応等を行った。また、問題行動相談については、電話だけで問題が解消できない場合について獣医師の判断で飼い主に来所してもらい相談を受け付けるケースがあり、その場合の予約管理のサポートも行った。

令和4年4月～令和5年3月までの来所による相談件数

年／月	相談実施日	相談件数	参加人数	参加頭数
令和4年4月	9日（土）	2	2	2
5月	7日（土）／27日（金）	2	3	2
6月	11日（土）	2	3	2
8月	12日（金）	1	1	2
9月	17日（土）	1	1	1
10月	1日（土）	1	1	1
11月	11日（金）／19日（土）	4	7	4
12月	3日（土）	1	1	1
令和5年1月	14日（土）	1	1	1
2月	11日（土／祝）	3	6	5
3月	18日（土）	2	4	2
合計	13日実施	20件	30人	23頭

⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

【パピーのお困りごと相談会】

対象：生後4ヶ月齢までの子犬とその飼い主 参加費：無料

成長して問題が起こってから対処するのではなく、社会化期に様々な経験を積むことで問題行動を予防し、人間社会で楽しく幸せに暮らせるようにする。

開催日時：令和4年11月11日（金）14:00～16:00

開催場所：共生センター ふれあい室

講師：獣医師/JAHA認定家庭犬しつけインストラクター・村田香織先生

参加人数：受講者3名 犬3頭

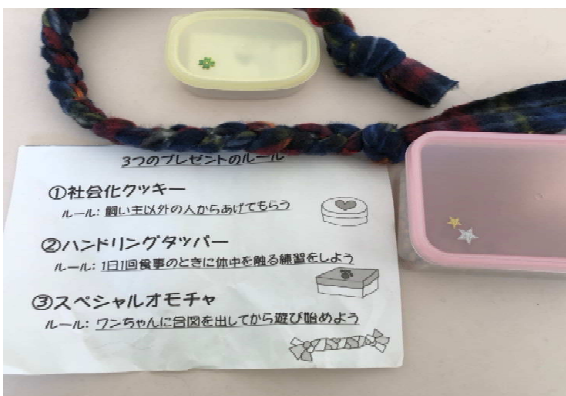


共生センターの子犬たち3頭が参加

先生から、概ね4ヶ月くらいまでの子犬はとても頭が柔軟で、この時期、は様々な刺激に慣れることで多くのことを学んでいく「社会化期」とも言い、親犬や兄弟犬との関わりの中で犬のルールも学び、人間と触れ合うことで人に対しての社会性も身に付けていくと教えていただく。

先生からのプレゼント

引っ張りっこの遊びに使うロープ、人との社会化に使うおやつを入れるケース、普段のトレーニングに使うご褒美をいれておく小さなケース。ロープは子犬が遊びの中でルールを学ぶだけでなく、噛みたいという要求を満たすことで「甘噛みへの対応」にも活用できる。社会化に使うおやつは、外で初めて出会う人から与えてもらうことで、「おいしいものを与えてくれる人」「人の手はこわくない」と子犬が学習できるツールとなる。



ハンドリングクッキーでトレーニング

ご褒美を上手に使いながら、足の間を通してフセの練習。繰り返し行うことでどの子もみんな「フセ」を覚えることができた。



今年度は来所相談の枠の中で実施したが、参加希望はあったものの、平日開催であったため、調整がつかずに一般からの参加がない結果となった。子犬を飼育している家庭には、家族揃って「社会化」について学んでいただくため、令和5年度は休日の日程で開催すると同時に、こうべ動物共生プラットフォームの構築に着手し、各区単位などで、より市民に近い場所での開催を目指して、動物取扱業事業者向けの研修として「パピー教室」を実施したいと考えている。

⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

令和4年4月来所による相談の対応事例

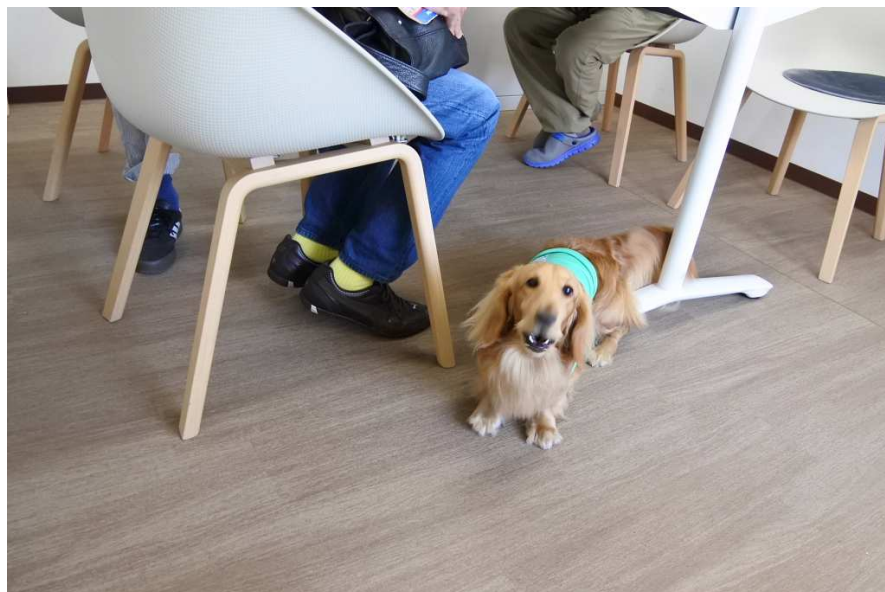
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/4/9	ミニチュアピンシャー	1歳7ヶ月	オス	済
相談内容				
給餌のとき、待っている間に唸り、咬みつきそうになり（一人のときはまだまし）、複数の人がいると狂暴になる。餌の量が多いときも狂暴になる。立ちながら食べる。家を出る前に吠える。中3の娘さんに唸ることが多い。				
対応について				
フードを与えるときは一度に一回量を与えず、取り分けたフードを少しずつ与える。唸るなど好ましくない行動が出た場合は、いったんフードを与えることを止めて落ち着いてから次を与えるようにする。飼い主にとって好ましくない行動をした場合は、いったん部屋から出て落ち着くまで待って戻るということを繰り返し、普段からの基礎的なしつけを行うようにアドバイス。手入れのときにご褒美をあげながら気をそらして少しずつ触らせることに慣れさせる練習をすることも伝えた。				
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/4/9	柴犬	3歳11ヶ月	オス	済
相談内容				
飼い主を咬む。散歩中に寄ってきた人を咬んだ。しつけ方が分からない。				
対応について				
食事中に手を出すと威嚇したり、咬みつくとのことだったので、一度にフードの一回量を与えず、少量ずつ与える方法を伝授した。リードで犬の動ける範囲をコントロールし、歯が届かない距離を保ちながら食器に少量ずつフードを与え、飼い主の手からフードをもらうことに慣れさせるものである。同時にクレートなど犬が安心できる場所を確保して、落ちついて過ごせる環境づくりや、基礎的なしつけを普段から行うようにアドバイスした。				
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/4/22	コーギー	6歳1ヶ月	オス	未
相談内容				
他の犬に対する噛みつき（主にオス犬に対して）。				
対応について				
散歩友だちの犬（ボーダーコリー）と喧嘩して鼻先に咬みつき出血をさせたことがあり、それ以来その犬には近づけないようにしており、他の犬に近づけると咬む場合があるとのこと。散歩中に犬を見かけたときは飼い主が先に他犬の存在に気づくよう心がけ、他の方向へ行くなど歩くコースを変えるか、間に合わない場合は近づけ過ぎないようにリードをコントロールして咬む機会を与えないようにするよう助言した。並行して基礎的なしつけを普段から心掛けるようにアドバイスを行った。				



⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

令和4年5月来所による相談の対応事例

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/5/7	ミニチュアダックスフンド	5歳6ヶ月	メス	済
相談内容				
<p>今年2月に迎えた繁殖引退犬、普段は大人しく無駄吠えもほとんどないが、夫がいるときはソワソワして姿が見えとずっと吠える。トレーニングをして夫が座っていると手からおやつを食べられるようになり、抱っこすると顔をなめてくるが、少しでも動いたり、立ち上がると咬む。サークルに入ってもらいたいが、夫がいるときは夫のそばを離れずサークルに入ってくれない。</p>				
対応について				
<p>どんな状況下でも、「オスワリ」「フセ」「マテ」等の基本的な指示を聞くことが出来るように、普段からトレーニングすることをアドバイス。吠えるなどの好ましくない行動が見られたときはその場から離れ、「吠えているとかまってもらえない」という状況を作り、犬が落ち着いてから戻ることを繰り返すことで、好ましくない行動が減っていくことを説明。さらにケージ等の中で過ごす時間を作り、飼い主の指示でケージに入れるように練習することも併せて助言を行った。</p>				
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/5/27	ミニチュアダックスフンド	1歳	オス	未
相談内容				
<p>他人、他犬に対して激しく吠える。家庭での要求吠えも激しい。</p>				
対応について				
<p>吠える行動をコントロールする方法（吠えているときに「吠えろ」という指示で吠える、止めたタイミングを逃さず「止め」「静かに」という指示で吠えるのを止めさせる）について、ご褒美のおやつの使い方、与えるタイミングをお伝えした。散歩中の行動についても継続した指導助言を要するため、6月16日のお散歩診断を案内した（申し込んで参加され「大変勉強になった。また参加したい」とのこと）。要求吠えに関しては、サークル、ケージ等を活用して一頭で落ち着いて過ごす練習方法について助言を行った。</p>				



⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

令和4年6月来所による相談の対応事例

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/6/11	トイプードル	2歳5ヶ月	オス	済
相談内容				
吠え癖と引っ張り癖。				
対応について				
吠えているときに「吠えろ」、吠えるのを止めたときに「止める」と声掛けをして吠える行動をコントロールする方法について、スタッフの犬で実演しながら助言を行った。並行して「オスワリ」「フセ」「マテ」等の基本的な指示を、どんな状況下でもできるように練習するようアドバイス。 引っ張り癖に関しては、リードの使い方と犬のコントロールの方法を実際に体験して学んでいただいた。伸縮タイプのリードとハーネスを使っていたため、トレーニング時には伸縮タイプではないリードとカラーを利用することをすすめる。また、1日2回の散歩において、1回の散歩時間が5～10分とのことだったので、時間や運動量を増やして十分に遊ばせ、エネルギーを発散させることの必要性を伝えた。 飼い主様帰宅後、「丁寧にわかりやすくマンツーマンで教えていただき、救われた気持ちで帰宅できた。がんばって向き合いたい」というお礼のメールが届いた。				
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/6/11	チワワ	2歳6ヶ月	オス	済
相談内容				
他人の誰でも吠える。家族にも吠える。音にも吠える。				
対応について				
過敏に反応する様子が見られたので、クレートなど家の中で犬だけで落ち着ける場所を用意し、一定時間過ごさせる練習を勧めた。興奮して吠え始めたら飼い主は退室し、ドア等を閉めて犬を残し、落ち着いたら戻るよう助言を行った。並行して「オスワリ」「フセ」「マテ」等の基本的な指示をどんな状況下でもできるように普段から練習するようアドバイス。特に「マテ」については、飼い主が離れてもその場に留まれるように練習する方法を伝えた。また散歩の回数が1日1回で費やす時間が10分であったため、1回の時間を増やしたり運動量を増やして十分に遊ばせることで、エネルギーが発散できることを伝えた。				



⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

令和4年8月来所による相談の対応事例

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/8/12	チワワ	5歳	メス	未済
相談内容				
先住犬に攻撃的になるときがある。他人に咬みにいくことに困っている。				
対応について				
ペットショップの売れ残りを引き取ったが、子犬時代を長期にわたって他犬と接することもなく過ごし社会化期を逃してしまったため、犬同士の関係が作りにくい様子だった。まずは飼い主の指示に従えるように「オスワリ」「フセ」「マテ」等がどんな状況下でもできるように普段からトレーニングするようアドバイスを行った。トレーニング時のリードの使い方についても説明を行った。また、ストレスがたまらないよう、エネルギーを発散させるために、散歩の回数や時間を増やすことの助言も行った。				
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/8/27	柴	4歳7ヶ月	オス	済
相談内容				
同じ柴犬や、同じくらいの大きさの犬に対して飛びつく、唸ることが多い。兵庫県動物愛護センター（三木支所）の職員からしつけ教室に通うことを勧められたが本当に必要か分からない。				
対応について				
通常時は特に問題が無い様子。 まずは、唸る対象となりそうな犬と出くわした場合には進行方向を変える等して、接触を避けるようにアドバイスした。また、どんな状況下でも飼い主の指示に従えるように「オスワリ」「フセ」「マテ」等の基本的な練習を繰り返すことの必要性についても助言を行った。飼い主の指示での「マテ」の練習をしっかりとすることで、様々な場面で犬の衝動的な行動を抑える効果が期待できるため、静かな部屋の中、散歩中、周りに他の犬がいるとき等色々な状況のもとで繰り返し練習することがとても大切であり、繰り返し練習を行うことで、突発的な状況が起こったときにも飼い主の指示である程度コントロールすることができるようになることを伝えた。				

令和4年9月来所による相談の対応事例

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/9/17	柴	3歳（推定）	オス	未済
相談内容				
九州の保護施設から迎え入れて1ヶ月ほど経つが、散歩のときに大型車等大きな音がすると怯えて逃げようとする。散歩を怖がる。長男にだけ吠える。北海道旅行（飛行機）へ連れて行きたい。				
対応について				
散歩中の様子をお伺いしたところ、他の犬や人に対しては友好的。大型車等の大きな音を聞くと逃げようとするに対しては、普段のしつけの中で飼い主の指示に従い、待つことを習慣づけ、犬が対象物に気づく前に指示を与えてじっと待つように教える方法について伝え、実際に散歩をしながら実践した。長男に吠えることについては、家族全員で基本的なしつけを教えつつ、長男の手からおやつ等を与えてまずは長男に慣れるようにすることをアドバイスした。飛行機に乗せて旅行したいとのことだったため、移動の際に安全確保できる素材のクレート等に普段から慣れさせることや、ラジオ等を使用して様々な音を聞かせ、少しずつ大きな音に慣れさせ、音に驚かないようにする方法を伝えた。				

⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

令和4年10月来所による相談の対応事例

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/10/1	パピヨン	1歳1ヶ月	オス	済
相談内容				
散歩中に拾い食いするので取ろうとすると本気で咬む。これまでに2回咬まれた。服のボタンを咬みちぎったときに取ろうとして咬まれた。おもちゃはこちらから取り上げようとしないので大丈夫だが、咬む行動にどう対応したら良いか。また、庭や部屋の片隅で排泄したときに便を食べるので、食べさせないためにはどうしたら良いか。				
対応について				
散歩時の拾い食いについて詳しくお聞きしたところ、木の枝などを見つけると咥えて離さず、取り上げようとする抵抗するなど、お気に入りの物を飼い主に渡さない様子がみられた。散歩中は犬が見つけて取ろうとするのを、先に制止し取らないようにすることと、先に取られたとしても直ぐに取り上げられるように代わりに与えられるご褒美やおもちゃなどを利用して、直ぐに出させる（ご褒美やおもちゃと交換する）ことを習慣づけるよう伝えた。そのためには土台となる基本的なしつけも必要となるため、飼い主の指示に従えるように「オスワリ」「フセ」「マテ」等の基本的な指示をどんな状況下でも行えるように日常からトレーニングすることについても助言を行った。 食糞については、「食後」「寝起き」「クレートやケージ等から出したとき」等に排便することが多いため、様子をよく観察して排便した場合は直ぐに片付けるようにし、食べようと口を近づける前に制止の指示に従えるようにトレーニングする方法をアドバイスした。				

令和4年11月来所による相談の対応事例①

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/11/11	柴	10ヶ月	オス	済
相談内容				
散歩中や外で過ごしている時にトラックや自転車、通行人、音に対して怖がり吠える。散歩中は対象物から逃げるようとして引っ張ったり通り過ぎるまで動かない。散歩中の拾い食いも含めコンクリートのかげらや、小石、毛布など異食行動がある。「待て」からの「よし」で飛びつく。ハーネスを着ける時に逃げる（首が敏感）。				
対応について				
飼い主は在宅しているが日中は庭で放し飼い、夜間や雨の日は部屋に入れているがほぼ屋外飼育の状態。家庭に迎えてから2ヶ月間ドッグトレーナーに訪問してもらい基本的なトレーニングを受けたとのことだが、飼い主の指示に従って行えるようにすることが重要である点を伝えた。「吠える」「飛びつく」といった行動への対応については、まずは基本的なしつけが土台となるため、引き続き飼い主が「オスワリ」「マテ」などトレーニングを行うようアドバイスした。特に吠えることについては、吠える気配を感じたり、吠え始めたら指示を与えて飼い主に注目するように誘導し、対象物から気を逸らしながら部屋の中やクレートなど刺激の少ない場所で吠え続けさせないようにする方法についても助言を行った。異食については、犬が見つける前に阻止したり、飼い主の目の届かない場合は近くに置かないように気をつけるよう伝えた。犬具の着脱については、日頃から体のどの部分でも触れることができるように、ご褒美を与えながら嫌がる部位を無くしていくようにトレーニングする方法のアドバイスを行った。				

⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

令和4年11月来所による相談の対応事例②

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/11/19	雑種	1歳	オス	済
相談内容				
<p>こうべ動物共生センターからの譲渡犬であり、他犬との関係は良好で犬連れの人には近づくことができるが、街中で出会う見知らぬ人や登下校時の子どもを特に怖がり、リードを引っ張ってその場から離れようとする。</p>				
対応について				
<p>見知らぬ人が苦手になった原因の一つとして、子犬の時期にたくさんの経験をして社会性を身に付ける「社会化期」に、様々な人と関わる経験が少なかったのではないかとということが考えられたため、怖がっている状態のまま登下校時等の人が多い時間帯に人の多い場所を散歩するのではなく、人通りの少ないところで見知らぬ人と出会ったときに「オスワリ」「フセ」等の指示を与えて、その場から動かず落ち着いてやり過ごすようアドバイスした。うまくやり過ごせたらご褒美を与えるなど褒めることを繰り返すことで、犬が少しずつ自信を持って歩けるようになることも伝えた。散歩中のリードの取り扱い方についても伝授した。</p>				
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/11/19	トイプードル	2歳	メス	未済
相談内容				
<p>分離不安で怖がり、自己主張も強い。人が好きすぎて、他犬への嫉妬が目立つようになってきた。飼い主に甘えにくる他の犬に激怒する。飼い主に近づこうとする犬がいると唸り声を上げたり、牙をみせて威嚇する。相談者の夫が特に好きで傍らにいるときに他の犬が近づくと威嚇する。</p>				
対応について				
<p>日常時は部屋で自由に過ごさせているという飼育状況のため、クレートで静かに過ごす時間を作るなど環境整備を見直し、同時に飼い主の指示に従えるように「オスワリ」「フセ」「マテ」等の基本的なトレーニングの方法について助言を行った。いつでも自由に動き回るのではなく、特に指定した場所でじっと待つなど、落ち着いて過ごすことから問題の解消へつなげていくことをアドバイスした。</p>				



⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

令和4年12月来所による相談の対応事例

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2022/12/3	トイプードル	7歳6ヶ月	オス	済
相談内容				
無駄吠え、家の中での拾い食いで床に落ちている髪の毛を見つけると口に入れたり食べてしまう。散歩のときに歩かない。相談者に依存してしまう。配達の人などがくると玄関まで吠えながら出てきて吠える。				
対応について				
<p>まずは飼い主の指示に従えるように「オスワリ」「フセ」「マテ」等の基本的なトレーニングの大切さについて伝え、来訪者があった場合はクレートやサークルの中、クッション等の場所に飼い主の指示で移動させ、そこで待たせることを目標にした日常のトレーニング方法をアドバイスした。「オスワリ」「フセ」「マテ」などの合図で待たせるトレーニングは、犬を特定の場所で待たせるだけでなく、対象物に向かっていく行動を抑制することにも役立つことも併せて伝えた。</p> <p>拾い食いで髪の毛を口にするに関しては、口に入れる物を犬の目に触れないように片付けることや、飼い主の制止の指示に従えるようにしっかりとトレーニングを行うことを助言した。散歩については、抱き上げて離れたところに連れて行き、降ろしてから家まで歩いて帰るようにしたり、次の電柱まで歩くといった達成しやすい目標を決め、その間は飼い主と一緒に歩くなどの練習方法について伝えた。</p>				

令和5年1月来所による相談の対応事例

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2023/1/14	ミニチュアダックスフント	2歳1ヶ月	オス	未済
相談内容				
「お散歩診断」で教えてもらったことを守りつつ、しつけを1年続けてきたつもりだったが、近頃朝起きてケージから「出して」、夫が帰って来たときの「お帰り、撫でて」などの吠え方がひどくなってきたので再度しつけについて教えて欲しい。				
対応について				
<p>「オスワリ」「フセ」「マテ」等の基本的なトレーニングがうまくいかず少し困難のように見受けられたため、基本的なトレーニングの大切さを伝え、トレーニング方法を示して再度学んでいただいた。犬が何かを要求している場合は直ぐに応じるのではなく、飼い主が何か簡単な指示を出しそれに従った結果、要求が通るということを経験できるようにアドバイスを行った。また、「フセ」「マテ」などの犬を少しの間じっと待たせて落ち着かせるトレーニングを重点的に行うことも勧めた。</p>				



⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

令和5年2月来所による相談の対応事例

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2023/2/11	MIX（トイプードル×ビーグル）	2歳3ヶ月	オス	済
相談内容				
<p>3頭の多頭飼育（トイプードル3歳オス、MIX トイプードル×ビーグル2歳オス、ビションフリーゼ7ヶ月オス）で、2歳3ヶ月のMIXがおもちゃに執着が強く他の犬が取ろうとすると威嚇や攻撃をする。おもちゃを咥えているときに他の犬が近くに來るだけで唸る。おもちゃを複数与えても自分のおもちゃを取られそうになると攻撃する。同居犬同士は問題なく暮らせていておもちゃも他の同居犬に譲ることもあるが、ドッグランなど家の外で他の犬に対しては、おもちゃを咥えているときに威嚇や攻撃をするとのこと。</p>				
対応について				
<p>基本的な「オスワリ」「フセ」「マテ」などのトレーニングの重要性について伝え、少しの間じっと待たせるトレーニングとドッグランでは特に必要となる呼び戻しのトレーニングの方法について助言を行った。基本的なトレーニングを続けたうえで、飼い主の指示があったら必ず口から出す練習（ご褒美のおやつや他のおもちゃと交換するなど）の方法についても伝えた。</p>				
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2023/2/11	トイプードル	3歳	オス	済
相談内容				
<p>咬まれることが多く悩んでいる。夜、同じベッドで寝ているが犬が先にベッドに行き、後から寝室に入ろうとすると激しく鳴きわめいて飛びかかり足を咬まれ、足はあざだらけ。普段はリビングルームで自由にさせているが、出かけるときはサークルの中で過ごしている。出かける様子を察し「バイバイ」しようとするとうる。また、他の犬が近づくと逃げようとする。</p>				
対応について				
<p>基本的なトレーニングはたまにしかしていないとのことだったので、毎回の食事の際になどに「オスワリ」「フセ」「マテ」などのトレーニングを習慣づけることをお勧めし、普段の生活の中で犬の要求に直ぐに応じるのではなく飼い主から「オスワリ」等の指示を出し、それに従ってから要求に応えるようにするようアドバイスした。犬が先にベッドにいる場合はおもちゃなどを使っていったんベッドから出し、「オスワリ」などの指示を出して従ってから呼び寄せるなど、今までと違う方法を試すよう助言を行った。また、出かける前には留守番を連想させないように、出かけることを予想させるような動きや声掛けは避けるように伝えた。</p>				
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2023/2/11	柴犬	1歳7ヶ月	メス	済
相談内容				
<p>散歩中の拾い食い（プラスチック類）や一度咥えたものに対する執着心が強く、取り上げようとするとうる咬みつくことがあり、頻繁にプラスチック類等を食べてしまう。以前ドッグランで大型犬に追い回されたことがあり、それ以来、散歩中に大型犬に限らず犬が近づいてきただけで吠えだすなど攻撃的になることが多くなった。</p>				
対応について				
<p>基本的なトレーニングを日常から行い、飼い主の指示に従うように普段からトレーニングすることを勧め、散歩中に拾い食いをしそうな物があった場合は、犬が見つけて口に入れる前に制止するように注意しつつ、日常から飼い主の指示で口に入れたものを出せるようにトレーニングすることを併せてアドバイスした。また、他の犬を散歩中に見かけた場合は、犬が吠える前に方向を変えるなどして視界に入らないように避け、吠える状況を作らないようにし、吠える前に「オスワリ」「フセ」などの指示を先に出して飼い主が犬を制御できるように日頃からのトレーニングを心がけるように伝えた。</p>				

⑥ 「お困りごと」 犬猫飼育者支援事業（飼育に関する個別相談）

令和5年3月来所による相談の対応事例

相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2023/3/18	MIX	2歳8ヶ月	オス	済
相談内容				
<p>毎朝唸る。家族以外が家に入ってくると吠える。生後1ヶ月過ぎぐらいで民間の保護施設から引き取り、免疫がつくまで外に連れ出さないようにと保護施設の指導があったため、半年ほど外の散歩や他の犬や人との接触を避けてきた。8ヶ月ぐらいの頃フードをあげる際にリードが絡まったので外そうとしたところ突発的に本気で咬まれたことがある。飛びつきなどで困っていたので1歳ぐらいの頃月に1回のトレーニングに通うが、10回程通った後こちらではみる事ができないとトレーニングの終了を告げられる。部屋の広範囲を自由にさせていて玄関先にクレートがある。朝の散歩のときにクレートから出てこないで出そうとすると唸る。身体を触ることを嫌がるのであまり触らないようにしてきた。</p>				
対応について				
<p>社会化期に人や犬との関係や色々なことを体験し、順応することを学ぶ十分な体験をすることができず社会体験が不足して、その結果警戒心が強くなってしまったと考えられたため、まず犬が飼い主に慣れてもらうことと、犬を扱いやすくするために「オスワリ」「フセ」「マテ」などの基礎的なトレーニングをごほうびを使いながら行うことをアドバイスした。さらに、ごほうびを与えながら犬の嫌がる所を避けて体に触れることを繰り返す、人の手が心地よいものであることを徐々に体験させる方法についても助言を行った。また、玄関先など外界の刺激を受けやすい場所はリラックスできないため、出来れば家の中の落ち着ける場所にクレートを置いてみることを勧めた。並行して基本的なトレーニングの方法についてアドバイスをを行い、散歩の際のコントロールの仕方について、センターの周辺を散歩しながら助言を行った。</p>				
相談日	犬種	年齢	性別	去勢・避妊手術
2023/3/18	トイプードル	2歳5ヶ月	オス	済
相談内容				
<p>マンションの住人より犬の鳴き声についての苦情がコンシェルジュに入り、東部衛生監視事務所から電話による調査が入り、来所による相談を紹介された。 夜に帰宅して家で一緒にいるとボールで遊べとしつこいので相手をしないかと吠えて催促する。 また、通路で人の気配があると吠える。 昼間は不在のため、犬の専門学校（トレーニング）に預けて犬をみてもらっている。</p>				
対応について				
<p>家庭での基礎的なトレーニングは特にしていないとのことだったので、「オスワリ」「フセ」「マテ」などのトレーニングを習慣づけることを勧め、おもちゃは与えっぱなしにせず飼い主の管理の元に遊ぶときだけ出して終われば片づけるように伝えた。ボールで遊べと催促した場合は、必ず飼い主が「オスワリ」等の指示を出しそれに従ってから遊ぶようにして犬が要求するまま遊ばないように気をつけるように伝えた。 また、通路を通る人の気配に気づきにくくなるように、通路には近づけないようにフェンスなどで自由に動ける範囲を制限し、奥の部屋で過ごさせるよう、環境整備についてもアドバイスをを行った。</p>				

電話やメールでは十分に状況を把握できない場合もあり、犬を連れて来てもらうことで、飼い主が日頃どのように犬とコミュニケーションをとっているか、実際の様子を見ながらより具体的なアドバイスを行った。中には、電車とバスでは犬を連れて行くのが困難という市民の声もあり、「出沒・こうべ動物共生センター」のような地域における相談窓口創出の必要性も感じた。
また、今年度においては子犬のころの社会化期の必要性を、成犬の相談内容から鑑み、「パピーのお困りごと相談会」を開催した。
次年度においては広報の仕方を工夫したい。